

N. S. 社会システム学科・3年次

I. 留学レポート

① 留学決定から出発までの準備期間

独学では難しいスピーキングに少し慣れておきたかったので英会話に通い、TOEFL や TOEIC も積極的に受けていました。しかし同時に、経済的な面でアルバイトも出来るだけ多く入らなければならない状況だったので、英語と学校とアルバイトを両立するのは大変でした。手続きに関しては、飛行機の往復チケットを買うのが他の学生と比べて遅かったです。大韓航空（韓国経由）だったため高くはなかったですが、韓国での滞在時間が長く不安な気持ちになりました。早ければ早いほど、いいチケットが安く売っているみたいなので、留学が決まり次第取った方がいいと思います。（チケットに関しては、先生は特に何も言及しません。）ビザ申請手続きですが、私の場合とても簡単に済みました。面接も日本語で対応してくれましたし、簡単な質問を3つくらいされただけなので緊張なくて大丈夫です。ただ、持ち物がいくつかあり、その準備に少し時間が掛かりました。あと、MBC の先生から送られてくるメールもこまめにチェックした方がいいと思います。寮に元々備えられているもの、備えられていないものを事前に調べて自分が現地に持っていく物の確認を！

② 現地到着後

大学までの移動手段ですが、大学の最寄りの空港までは一人で行き、そこからは MBC の先生が迎えに来てくれました。到着空港、時間、搭乗便などをメールすれば何時でも！しかし、具体的な待ち合わせ場所、迎えにくる先生など何も知らないままだったので不安でした。また、オリエンテーションは必須です。1 週間程ありますが、友達も出来るし、いろんな経験が出来るととにかく楽しい！オリエンテーションが終わるとすぐ授業週間が始まり、授業に着いていけるか、どの授業を取るかなど悩みが増えるので、それまで旅行気分を味わって下さい。到着後の諸手続きに関しては、先生方がとても協力的ですし、正直周りに日本人や留学生がいっぱいいるのでなんとかなります。分からないことはすぐ誰かに相談！

③ 語学研修期間

秋スタート留学（Direct entry）なので、語学学校には行っていません。

④ 正規科目履修期間

◆大学の施設・環境について

とても勉強しやすい環境だったと思います。私の住んでいた寮は大学内にあり、授業に行くのもスペンサーセンターや図書館で自習するのも、ライティングセンターに行くのもすぐでした。また、大学の近くのダウンタウンにおいしいカフェがあってそこでも勉強出来ます。買い物をするのは大変で、トロリーというバスを使うか、車を持っている友達を作り頼むしかありません。

◆履修科目

・ Orientation

留学生のための授業です。私の時期は韓国やインドからの留学生も含めて皆取っていました。たまにあるレポートは面倒でしたが、いろんなところに行けて楽しかったです。息抜きの時間でした。

・ American Culture

アメリカの歴史や、文化、価値観などを学びました。選挙の時期だったので、「誰を支持するか」というテーマでスピーチもしました。この授業で、アメリカだけでなく日本の政治や経済にも興味を持ちました。

・ English

語学学校に行かなかったため取りました。Writing 中心の授業で、先生は優しくてスタイル抜群！授業自体はそれ程面白くありませんでしたが、書く量や文法、語彙の使い分け等の面で、スキルは明らかに上がりました。

・ Public Speaking

Speaking や人前で話すことが苦手だったため敢えて取りました。4 回程スピーチをし、残りの授業で Public speaking の基礎知識（言葉づかい、アウトラインの書き方等）を学び、とても勉強になりました。

・ Psychology

個人的に興味があったのと、とても素敵な授業だったため取りました。週一のクイズや 4 回のリアクションペーパー、毎回の予習復習、4 回の中間試験、最終試験があり、一番力を入れて取り組みました。

◆授業、レポート、定期試験

レポートなど課題の提出期限が次々に迫ってくるため、基本的に平日夜と日曜は取り組むようにしていました。私は、レポートや試験よりもクイズが恐怖でした。レジュメには載っていないけど、授業中に先生が言った大事なことについて聞かれるし、時間制限もネイティブと同じだからです。最後までやり抜いて感じたことは、「努力すればなんとかなる」です。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

ほとんどのクラブ活動は、真剣であるためか留学生には出来ないという印象を受けましたが、自分の気分に合わせてハイキングサークルと国際交流サークルに参加しました。新しい友達を作ったり、英語を話すいい機会になるのでサークルはおススメです。また、授業前や夕食後にズンバというダンスクラブのような活動もあり、ダイエットのためにも週一のペースで参加していました。楽しいです！

⑥ 現地での住まいについて

多くの留学生が住んでいるメモリアルホールに住んでいました。初めての留学、一人暮らしだったので、周りに同じ状況の子がいると相談しやすいと思い、この寮を選びました。

一方で、日本語は出来るだけ話したくなかったためルームメイトは日本人以外を希望しました。韓国人の子と部屋をシェアし、とても仲良くなれました。今でも頻りに連絡を取っています。設備はまあまあです。他の寮と比べて全体的に綺麗ですが、虫やネズミが出てきたり、温度調節が出来なかったり不便ももちろんあります。他の留学生との価値観の違いから不愉快な思いをしたこともあります。そんな時は RA に相談したり、直接相手に伝えました。私の意見ですが、韓国人や中国人と比べて、日本人が一番周りのことを考えて行動出来ているように感じました。食事に関しては、おいしい物と不味い物というより、食べられる物と食べられない物があるという感じでした。夕食は独特な味付けが多かったですが、朝食は基本的にどれもおいしかったです。カップラーメンはやっぱり必需品でした。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇といっても、Fall Break と Thanksgiving Break しか過ごしていません。Fall Break はボストンキャリアフォーラムに参加するため、ボストンに 3 泊しました。Thanksgiving Break はアメリカ人の友達の家を招待してもらいました。幸運なことに、とても親切であたたかい家庭だったので、忘れることの出来ない思い出になりました。機会があれば、ホームステイをおすすめします。ただ、実際問題当たり外れがあるみたいです。MBC の先生からはよく、「地域によって文化が全然違うから、時間とお金があるならアメリカ中を旅しなさい。」と言われました。長期休暇にどこに行くか決まらなくても、MBC の方たちが親身になって相談に乗ってくれます。交通機関についても、どんどん相談したらいいと思います。

⑧ 留学期間中の就職活動の取り組み

特に何もしていません。自己分析や企業研究、ES や SPI に対する準備がどうしても他の学生と遅れてしまうので、不安な方は事前に少しやっておくなど工夫をしたらいいと思います。留学自体を就活でアピールしてもあまり意味がなく、「留学で何を体験し何を得たか」などをアピールしていかなければならないので、この準備の遅れに対する不安は、内定がもらえるまでずっと残るかと思いますが、留学を通して何物にも代え難い経験が出来たと思っています。メリハリが大事だと思ったので、留学期間はしっかり楽しみ、しっかり勉強してきました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

ルームメイトと一緒に過ごした時間と Thanksgiving Break 中のホームステイの経験です。ルームメイトとは、周りからも認められる程仲良しでした。授業以外のほとんどの時間を一緒に過ごしたように思います。朝に弱い二人だったので、お互い起こしあって朝ごはんを食べに行ったり、DVD鑑賞をしたり、食べすぎた後はウォーキングしたり、寝る前に何時間も喋ったり、二人でトロリーを乗り継いで遠出をしたり、韓国語で会話をしたりもしました。誕生日も、その子が予定を考えて祝ってくれました。時にはお互いイラッと

たり意見が合わなかったりもしましたが、今は楽しかったことばかり思い出します。とはいっても一方で、自分ひとりの時間や他の友達との時間もお互いちゃんと作っていました。また、Thanksgiving Break に訪れた家庭では、買い物やおいしいご飯屋さん連れていってもらったり、私がイルミネーションが好きだということを友達から聞いたようで、クリスマスライトショーにどっきりで連れていってくれました。私の乏しい英語力にも我慢強く対応してくれて、会話にも積極的に入れてくれて、まるで家族の一員のように感じました。Thanksgiving Day には楽しみにしていた豪華な家庭料理を食べられたし、3つのパーティに参加しました。ますます「人」が好きになった、心温まる経験でした。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

どの授業を取るか決める際に一番悩みました。基本的にレベルの高い授業は眼中にありませんでしたが、あまり外交的ではなく、英語にもそこまで自信がなかった私にとって、留学生一人での授業はとても大きな挑戦でした。その中で、他の留学生は授業に着いていけるかなどあまり気にしていないようだったのが、私の不安をより大きくさせました。結果として、その授業を取って良かったと思っています。努力すればなんとかなりました。先生方もとても協力的で、留学生に理解のある方が多いので、どんどん挑戦したらいいと思います。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

洗面所で足を洗う人がいたり、トイレの後に手を洗わない人がいたり、シャワー使用後に落ちた髪を放置する人がいたり、冷蔵庫から他人のごはんを盗む人がいたり、時間に関係なく大きい声でお喋りをする人がいたり、意外と自分にとって当たり前前前前ではなくてびっくりしました。また、現地の方は全体的に時間にとてもルーズです。約束をしていても、その時間直前にキャンセルや時間変更の連絡をしてくれます。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点：留学生支援制度がとても整っていること。週に一回無料で映画を観られること。悪かった点：不便さ。たまに電波が悪いこと。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

留学体験記を参考にして、パソコンを持参しました。持っていきべきだと思います。パーティ用のフォーマルドレス、水に濡れても大丈夫なサンダル、カップラーメン、薬、日本文化を感じれるお土産、飛行機の中など時間を潰すために読む本

③ 語学力の向上等、留学の成果

帰ってきたあとすぐ TOEIC を受け、100 点程上がり、特にリスニングがとても伸びました。英語での返答もすぐ出来るようになったと感じますし、英語がますます好きになり、もっと頑張ろうと思っています。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は今しか出来ないとても貴重な経験だと思います。私は留学を通して成長出来たと感じていますし、本当に楽しかったです。皆さん頑張って下さい。



ルームメイトと。いつも2ショットを撮ってました(笑)。いろんなイベントがあって楽しかった!

Thanksgiving Break 中にホストファミリーに連れて行ってもらったクリスマスイルミネーション。忘れられない大切な思い出です!

